

平成 28 年度

学校関係者評価報告書

平成 29 年 10 月

学校法人 向洋学園

宮崎マルチメディア専門学校

平成 28 年度 学校法人 向洋学園 学校関係者評価報告書

学校法人向洋学園は、当学園の教育理念、教育目的等をはじめとする学校教育及び学校運営について自己評価を実施し、「平成 28 年度 学校自己評価報告書」を取りまとめ、宮崎マルチメディア専門学校に公表致しました。

また、この度、学校関係者評価委員会を設置し、当学園に関連する企業・業界の方々や教育関係者の皆様より当学園の学校教育及び学校運営に対し、幅広くかつ的確なご意見、ご指導を賜りました。頂戴いたしましたご意見等につきましては「平成 28 年度 学校関係者評価報告書」としてご報告させていただきます。

今後は、委員の皆様から頂戴いたしました貴重なご意見やご指摘を真摯に受け止め、大いなる気づきとし、当学園のより社会のニーズに応えられる学生指導と教育の質の保証及び向上を目指し、教職員一同邁進して参る所存でございます。

関係者の皆様には、今後とも尚一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成 29 年 10 月 13 日

学校法人 向洋学園

理事長 井手脇 万詔

1. 学校理念

「全ての学生の夢を受けとめ、高い技術力と、豊かな人間性を備えたプロフェッショナルを育成し、社会に貢献する。」

2. 宮崎マルチメディア専門学校校訓

自 発
探 求
実 践

3. 学校の教育目標

1. 学生の夢を具現化するため、教育に携わる教職員一同は常に精進に努め、また、学校はその為の研修等を計画的に行う。
2. 高い技術力を習得させるため、関連業界との連携を深めながら、定期的に技術力の確認を行う教育プログラムを実践する。
3. プロフェッショナルとしての心を育成する為、キャリア教育の充実を図る。
4. 豊かな人間性の構築を目指し、校外での体験、教育の場を設ける。

4. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1. 安全な学校生活、円滑な授業を促進するため、学生の日常に配慮する。
2. インターンシップのあり方、企業との連携のあり方を再考し、業界のニーズと本校の学生の目標をマッチングさせる。
3. 社会貢献できる人材育成を教育の一つとして考え、学生に様々な社会との関わり方の機会を設ける。

5. 学校関係者評価委員会実施日時

日時 : 平成 29 年 10 月 13 日 (金) 15 : 00～17 : 00

場所 : 宮崎ブライダル&医療専門学校

6. 学校関係者評価委員一覧表

	評価委員	所属	役職名
1	赤塚 晴彦	公益社団法人 全国経理教育協会	参与
2	池間 健治	学校法人旭進学園 宮崎第一中学高等学校	校長
3	日高 亜矢	有限会社 ホップステップアヤウェブ	取締役
4	緒方 総隆	株式会社 イチカラ	代表取締役社長
5	黒田 志徳	Cook+ie DESIGN WORK	代表

7. 討議・意見交換について

1	大項目	教育理念、教育目的、人材育成像
	中項目	教育理念、教育目的、人材育成像
	◆特に指摘なし	
2	大項目	学校運営
	中項目	諸規定の制定、学則・細則・内規等の整備、防犯対策、個人情報の保護、意思決定機関
	◆個人情報の管理を徹底するには、データを扱うマニュアル作りを行うことが必要である。また共有データについては校内 LAN で対応することになるが、データの持ち出し等にはルールを徹底することが必要である	
3	大項目	教育活動
	中項目	理念・目的・人材像を反映したカリキュラム、カリキュラムの定期的見直し、キャリア教育、授業アンケート、授業計画、成績評価、単位認定、資格試験、教職員
	◆授業アンケートなど評価された項目については、できる限り早急に対応していくことが望ましい。またきめ細かい対応が満足を高めていくことになる。	
4	大項目	学修成果
	中項目	就職率・推移、資格取得率・推移、退学率の低減
	◆特に指摘なし	

5	大項目	学生支援
	中項目	進路・就職への支援、学生相談への支援、学生への経済的支援、保護者との適切な連携、卒業生への支援体制
	◆特に指摘なし	
6	大項目	教育環境
	中項目	教育施設・設備、学内外の実習・インターンシップ、危機管理
	◆データベースを扱う授業において、サーバーサービスが不足することが授業の進め方に問題を生じることがあるので、余裕のある環境を作っておく必要がある。	
7	大項目	学生募集
	中項目	学生募集活動の適正性、教育成果の伝達、入学選考、学納金
	◆特に指摘なし	
8	大項目	社会貢献、地域貢献
	中項目	社会貢献、公開授業・出張講座、ボランティア活動
	◆学校施設を活用した社会貢献を今後の検討課題としていくことが望ましい。 ◆ボランティア活動を行うことで、学生の社会とのつながりが成長につながるので内容を検討していくべき。	
9	大項目	財務
	中項目	財務状況、監査、財務状況の情報公開
	◆特に指摘なし	
10	大項目	法令遵守の状況
	中項目	法令遵守の状況、適切な学校評価への取り組み
	◆特に指摘なし	

以 上